

駅すぱあと[®]

イントラネット Ver. 2

インストールマニュアル
(Windows 版)

目次

インストールマニュアル

目次.....	2
ソフトウェア使用権許諾契約書（駅すばあと）.....	3
1 商品構成.....	6
2 動作環境.....	7
3 全機能版・簡易版の機能比較表.....	8
4 インストール手順.....	9
a 初回インストール.....	9
b バージョンアップ時のインストール.....	16
c Web サーバーの設定について（IIS の場合）.....	17
i 実行環境の設定.....	17
< IIS 10.0 の場合 >.....	17
ii 匿名認証アカウントの設定.....	23
iii 匿名認証以外のアカウントの設定.....	25
d Web サーバーの設定について（Apache の場合）.....	26
e ファイアウォールの設定について.....	28
f 「駅すばあと」の起動と終了.....	29
g 「駅すばあと」のアンインストール.....	29
h Web サーバーの実行環境の移行.....	30
5 管理画面について.....	31
6 Cookie を利用しない場合について.....	32
7 サポートについて.....	33

ソフトウェア使用権許諾契約書（駅すばあと）

株式会社ヴァル研究所（以下、「弊社」といいます）は、本契約書とともにご提供するソフトウェア・プログラム及び付随ドキュメントを使用する権利を本契約書の条項に基づき許諾し、お客様も本契約書にご同意いただくものとします。

1. 定義

- (1) 「本件ソフトウェア」とは、弊社がご提供する『駅すばあと』製品をいうものとします。
- (2) 「ライセンス契約製品」とは、本件ソフトウェアのうち、「駅すばあと ライセンスパック」及び「駅すばあと SDK」をいうものとします。
- (3) 「ネットワーク製品」とは、本件ソフトウェアのうち、「駅すばあと イン트라ネット」、「駅すばあと ネットワーク」及び「駅すばあと ネットワーク SDK」をいうものとします。
- (4) 「お客様」とは、本契約の当事者のみをいい、グループ会社（官公庁の場合は、出先機関・関連団体をいい、以下同じとします）は含まないものとします。
なお、別途弊社と特約を結ぶことにより、グループ会社を含めて使用することができます。
- (5) 「収録データ」とは、本件ソフトウェアに含まれる駅名・バス停名・運賃・時刻表等の情報をいうものとします。
- (6) 「生成物」とは、本件ソフトウェアのプログラムによって出力された経路探索結果等の情報や設定情報等のファイルをいうものとします。
- (7) 「関連ソフトウェア」とは、本件ソフトウェアの使用権許諾に付随して、弊社がお客様に提供したソフトウェアをいうものとします。

2. 著作権

本件ソフトウェアの著作権は弊社が所有しています。

3. 使用権の期限

本契約における使用権はお客様が本件ソフトウェアを受領し、本契約に同意した日より発生します。お客様が弊社に対し書面通知を出したとき又はお客様が本契約のいずれかの条項に違反したとき、弊社はお客様の使用権を終了させることができます。なお、使用権が終了しても代金は返却いたしません。

4. 使用権の範囲

- (1) 弊社は本件ソフトウェアを限定された1台のコンピュータで使用する権利をお客様に対してのみ許諾します。ただし、(2) 項及び (3) 項に定める場合は除きます。
- (2) ライセンス契約製品については、弊社は契約ライセンス数を上限とする台数のコンピュータで使用する権利をお客様に対してのみ許諾します。
- (3) ネットワーク製品については、弊社は限定された1台のサーバで使用する権利をお客様に対してのみ許諾します。又、当該サーバへの同時アクセス数は、契約ユーザー数を上限とします。
なお、複数の OS を起動させ、それぞれにおいて本件ソフトウェアを使用する場合には、使用する OS 分の使用権が必要となります。
- (4) 本件ソフトウェアの使用はお客様のみの使用に限定されるものであり、本件ソフトウェアの商業的二次利用・転売は一切禁止されます。
- (5) 本件ソフトウェアの第三者への譲渡・貸与は許諾しないものとします。
- (6) 他者（グループ会社を含みます）のために、本件ソフトウェアを使用する業務等を反復継続的に行う場合には、別途弊社と特約を結ぶことにより実施できるものとします。

- (7) 収録データについては、旅行経路の検討・共有・記録等、通常必要と認められる範囲で お客様は使用することができるものとし、データベース等の集合物、又は当該集合物を二次利用したコンテンツ等として、公衆送信・頒布・譲渡・貸与することは禁止されます。

5. 複製・解析・改変等

- (1) 使用権の範囲を超える本件ソフトウェアの複製（インストールを含みます）は、私的使用目的や情報解析目的であっても、できないものとしします。
- (2) 本件ソフトウェア（収録データを含みます）の改変・解析・リバースエンジニアリングは、マニュアルに規定してある場合を除いて、全体的又は部分的であるかを問わず、一切できないものとしします。
- (3) 前二項の他、弊社の権利を侵害し又はそのおそれがある一切の行為をすることはできないものとしします。

6. ユーザーサポート

- (1) お客様は、本件ソフトウェアのユーザー登録手続きを行うことにより、本件ソフトウェアの機能・操作に関するユーザーサポートを受けることができます。
- (2) ユーザーサポートの範囲は、本件ソフトウェアの機能・操作面に限ります。本件ソフトウェア使用上の問題は、ハードウェア本体や周辺機器、OS、LAN 環境等、その原因は多岐にわたります。システム管理者等がいる場合には、予めご相談のうえ、本件ソフトウェアに関する問題のみ弊社にご連絡ください。
- (3) ユーザーサポートは、日本国内かつ日本語に限るものとしします。
- (4) 弊社は、書面での事前通告により、ユーザーサポートを終了できるものとしします。

7. バージョンアップサポート

- (1) お客様は、所定のお申込により、有償のバージョンアップサポートを受けることができます。
- (2) バージョンアップサポートをご利用のお客様は、契約期間中、製品及び契約形態に応じて、CD-ROM 送付（年間サポート契約の場合は、年 6 回もしくは年最大 12 回）、又は、オンラインでのバージョンアップをご利用いただけます。
- (3) バージョンアップサポートを契約期間中に中途解約された場合でも、返金はいりません。
- (4) バージョンアップサポートを利用している又は利用していたお客様が、万が一、使用権の範囲を超えるインストールを行う等の不正をした場合、弊社への損害賠償金は、複製権侵害等による損害額に、超過インストール数等に利用期間分のバージョンアップサポート料金を乗じた額を加算するものとしします。なお、損害賠償金の支払いをもって、刑事責任を免れるものではありません。

8. 情報の正確性

本件ソフトウェアの内容には万全を期していますが、収録データ又は生成物に全く誤りがないことを弊社は保証するものではありません。

正確な情報は、鉄道・路線バス等の各交通事業者にご確認下さい。

9. 弊社の免責

本件ソフトウェア又は関連ソフトウェア、収録データもしくは生成物に起因して、お客様に直接又は間接的に損害が生じても、弊社は一切の責任を負いません。

又、機器や媒体に起因する損害 に対しても、弊社は一切の責任を負いません。

よって、弊社は本件ソフトウェアに関するいかなる保証も行いません。

10. その他

- (1) 本契約のいずれかの条項又はその一部が法律等により無効となった場合でも、他の部分は、なお効力を有するものとします。
- (2) 本契約は、本件ソフトウェアの使用地域にかかわらず、日本国の法律が適用されるものとします。又、本契約に定めのない事項については、著作権法等に準拠するものとします。
- (3) 本契約について紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

東京都杉並区高円寺北二丁目3番17号

株式会社 ヴァル研究所

ソフトウェア使用権許諾契約書_駅すばあと (2015年12月改訂)

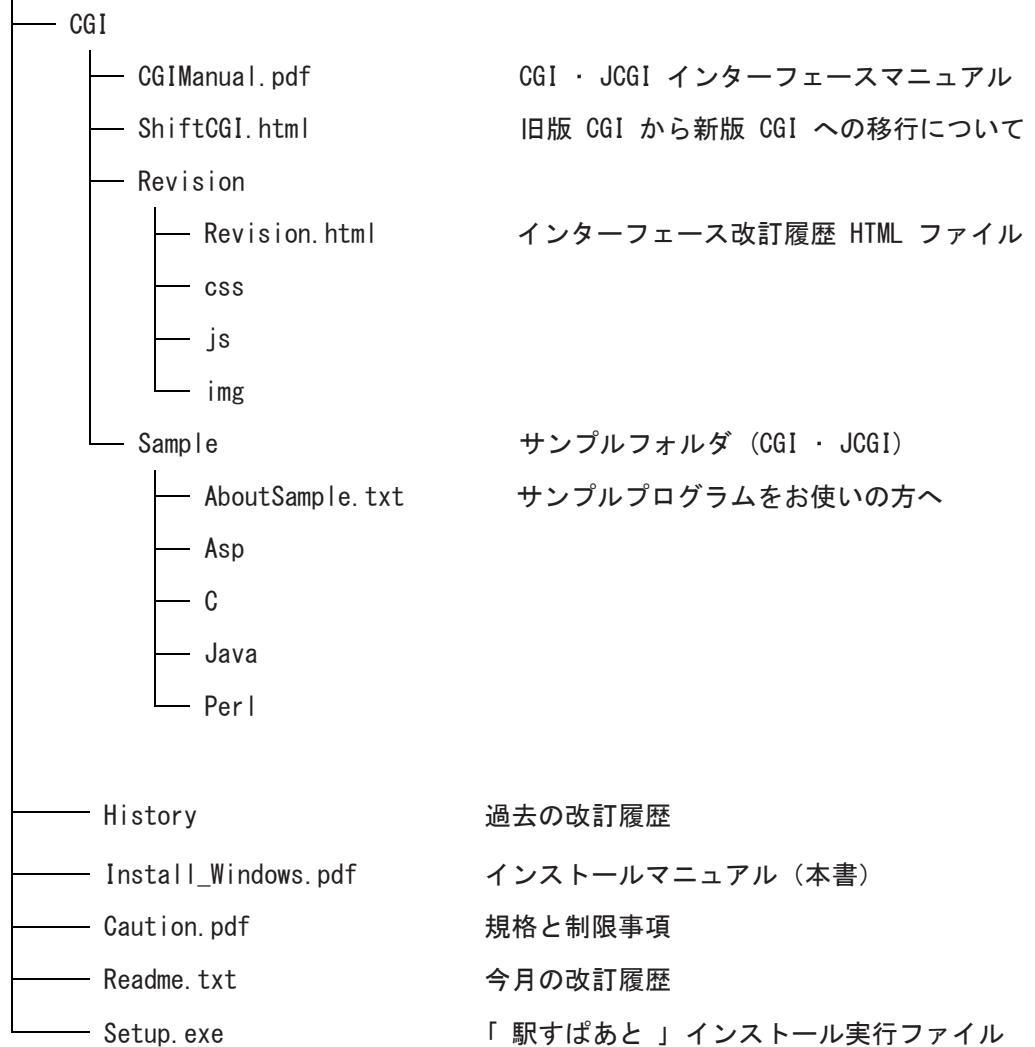
1 商品構成

「駅すばあとイントラネット Ver. 2」（以下「駅すばあと」と表記します）のファイル構成は以下の通りです。

<ファイル構成>

¥(CD-ROM、または ISO イメージ)

└ Ver2



2 動作環境

サーバー環境 : Windows

OS	Microsoft Windows Server 2016 Microsoft Windows Server 2019 Microsoft Windows Server 2022 Microsoft Windows Server 2025 (すべて日本語版)
ハードディスク	3GB 以上の空き容量
メモリ	4GB 以上
Web サーバーソフトウェア	IIS 10.0、Apache 2.4 系以降 (HTTP、CGI をサポートしている必要があります)

クライアント環境

「規格と制限事項」(Caution.pdf) の関連記述を参照してください

3 全機能版・簡易版の機能比較表

種類	機能	全機能版	簡易版
路線図	Ajax 路線図の表示	○	×
駅名入力	インクリメンタルサーチ	○	×
	路線図の駅名を選択	○	×
補助メニュー	路線から駅選択	○	○
	住所から駅選択	○	×
	ランドマーク選択	○	○
	乗り継ぎ駅選択	○	○
経路情報メニュー	印刷用画面表示	○	○
	運賃分割計算	○	○
	定期利用運賃計算	○	○
	定期払戻計算	○	○
	得トクきっぷ情報	○	×
	グリーン定期券料金	○	○
	Cookie 書き出し	○	×
	1 経路 GSV ファイル出力	○	×
区間情報メニュー	列車指定探索	○	○
	区間時刻表表示	○	○
	列車情報表示	○	×
	交通機関の運行情報表示	○	×
駅情報メニュー	出発 / 到着時刻探索	○	○
	駅情報表示	○	×
	出口案内表示	○	×
	福祉設備表示	○	×
	駅周辺図表示	○	×
	宿泊予約表示	○	×
	天気予報表示	○	×
	交通機関の駅情報表示	○	×
探索	通常探索	○	○
	途中下車探索	○	×

4 インストール手順

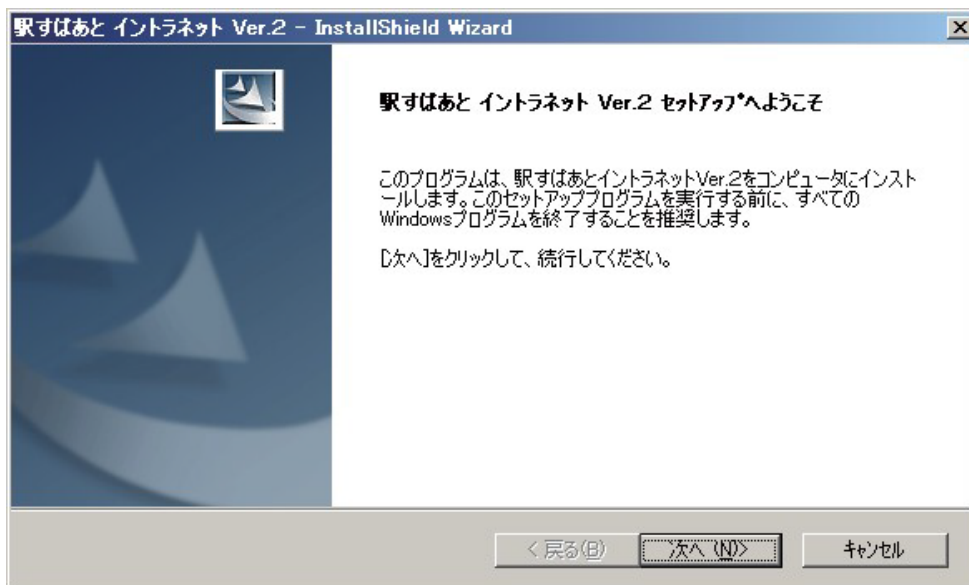
<インストールについて>

インストールを行う際は、以下にご注意ください。

- ※ インストール中にコンソールが表示されることがありますが正常な動作です。
- ※ リモート接続環境下でインストール作業を行ったことにより発生したトラブルについては、サポートしていません。
- ※ 同一 OS 上に複数の「駅すばあと」をインストールした場合の動作については、サポートしていません。

a 初回インストール

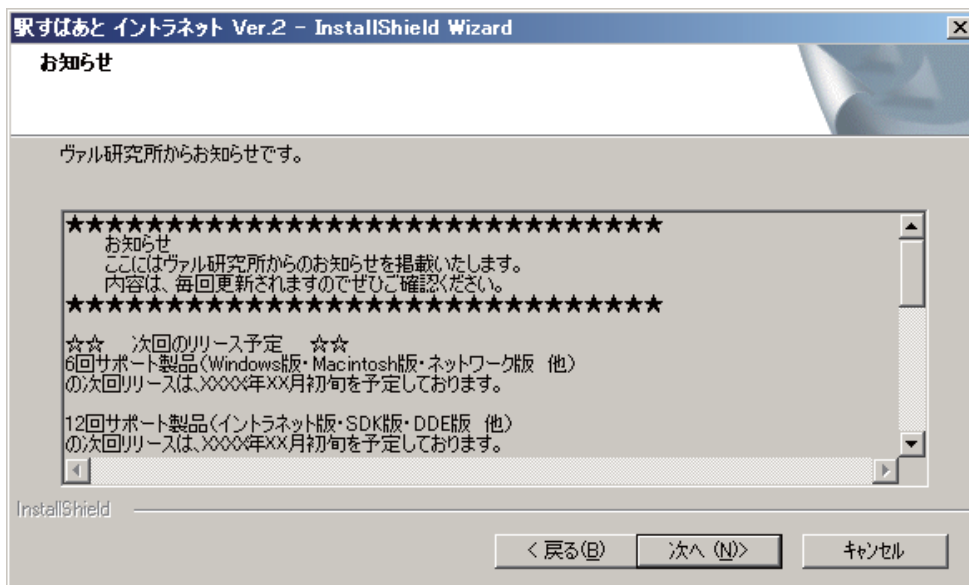
1. 「駅すばあと」CD-ROM をサーバーの CD-ROM ドライブに入れ、Ver2 フォルダの中にある Setup.exe を実行します。
 ※ダウンロードの場合は、ISO ファイルを展開後、Ver2 フォルダの中にある Setup.exe を実行します。
2. 「ようこそ」画面が表示されます。内容をご確認の上【次へ (N)】をクリックしてください。



- 「使用許諾契約」画面に「ソフトウェア使用権許諾契約書」が表示されます。ライセンス契約のすべての条項に同意する場合は、【使用許諾契約の全条項に同意します(A)】を選択し、【次へ(N)】をクリックしてください。



- 「お知らせ」画面が表示されます。内容をご確認の上【次へ(N)】をクリックしてください。



5. 「 必須項目の設定 」画面が表示されます。
 登録番号と CD キーを半角文字で入力し、【次へ (N)】をクリックしてください。
 ※ 登録番号と CD キーが一致しないとインストールできません。
 CD キーはバージョンごとに変わりますのでご注意ください。



6. 「ホストサーバ情報の設定」画面が表示されます。
 ホスト名とエイリアス名を入力し、【次へ (N)】をクリックしてください。
 ※ ホスト名をフルドメインで設定しない場合、Cookie が利用できませんのでご注意ください。
 ※ Cookie を利用する場合と利用しない場合では、製品の動作が異なります。
 ([「6 Cookie を利用しない場合について」参照](#))

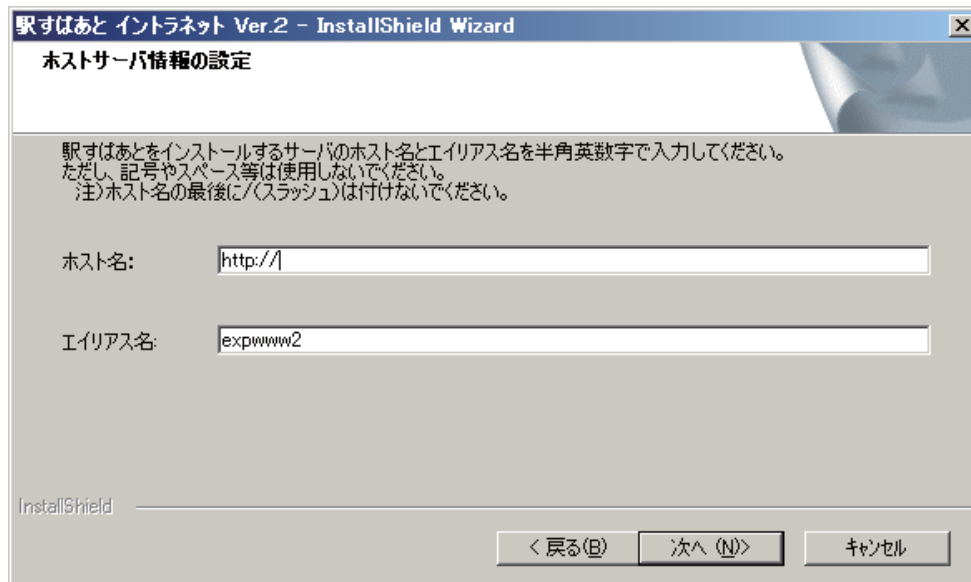
ホスト名の書式)

[プロトコル名]://[ドメイン名](:[ポート番号])

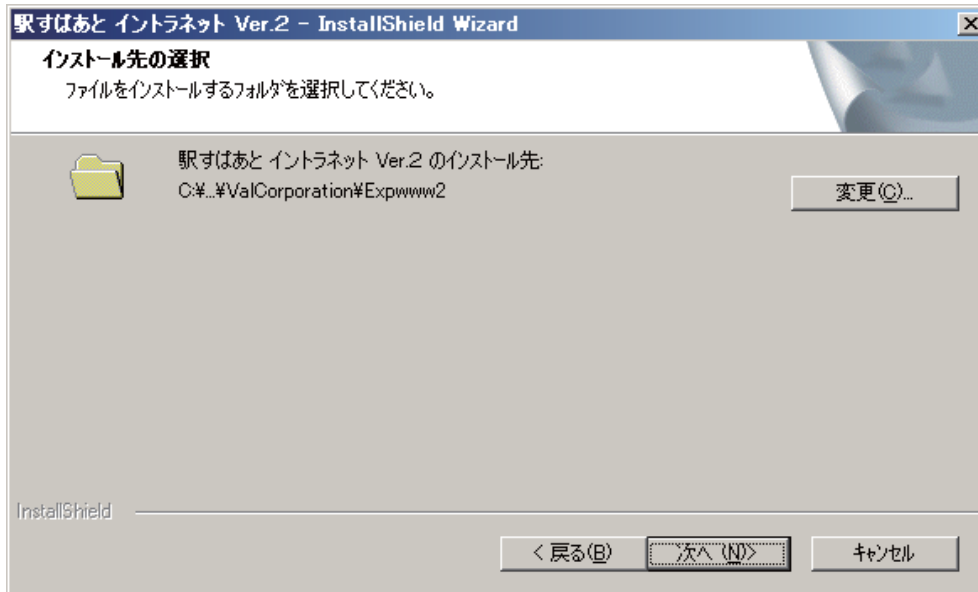
※ :[ポート番号] は省略可。

入力例)

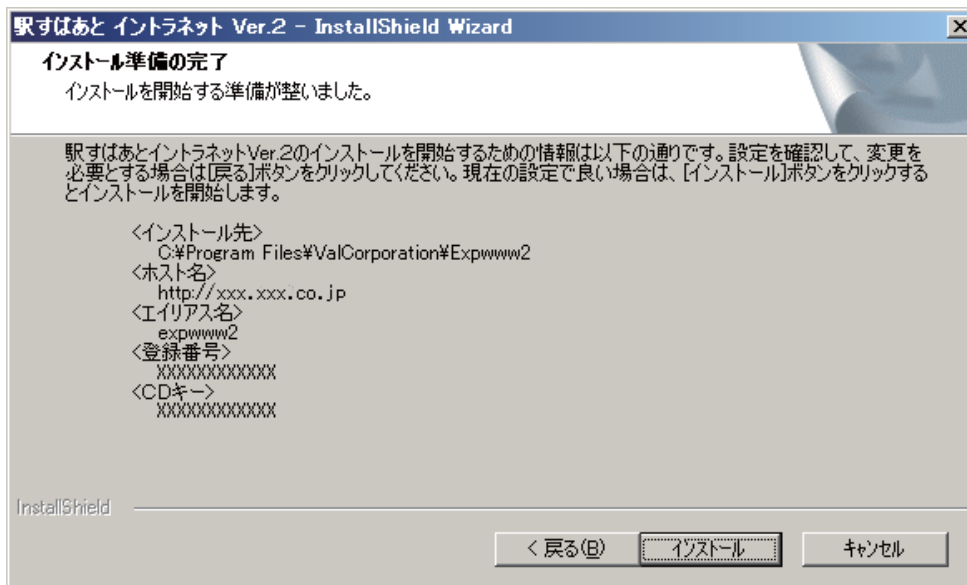
ホスト名 : http://abc.cdef.co.jp
 http://abc.cdef.co.jp:8080
 http://192.168.0.2 (IP アドレス指定) など
 エイリアス名 : expwww2 など



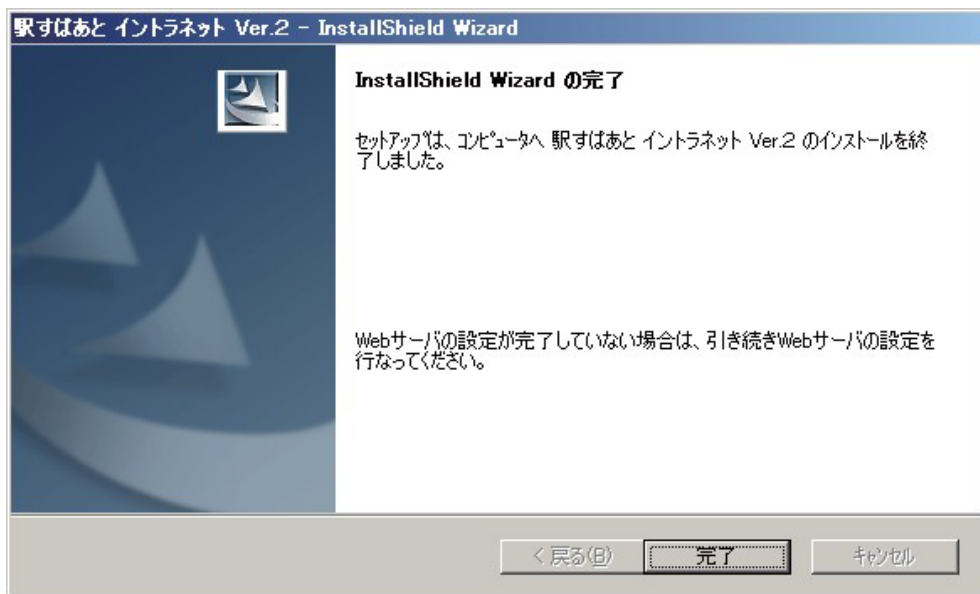
- 「インストール先の選択」画面が表示されます。
インストール先を確認の上【次へ (N)】をクリックしてください。
インストール先を変更する場合は【変更 (C)】をクリックし、任意のフォルダを選択してください。



- 「インストール準備の完了」画面が表示されます。
内容を確認の上【インストール】をクリックしてください。
「駅すばあと」のインストールが始まります。



9. 「インストール終了」の画面が表示されます。
【完了】をクリックしてください。



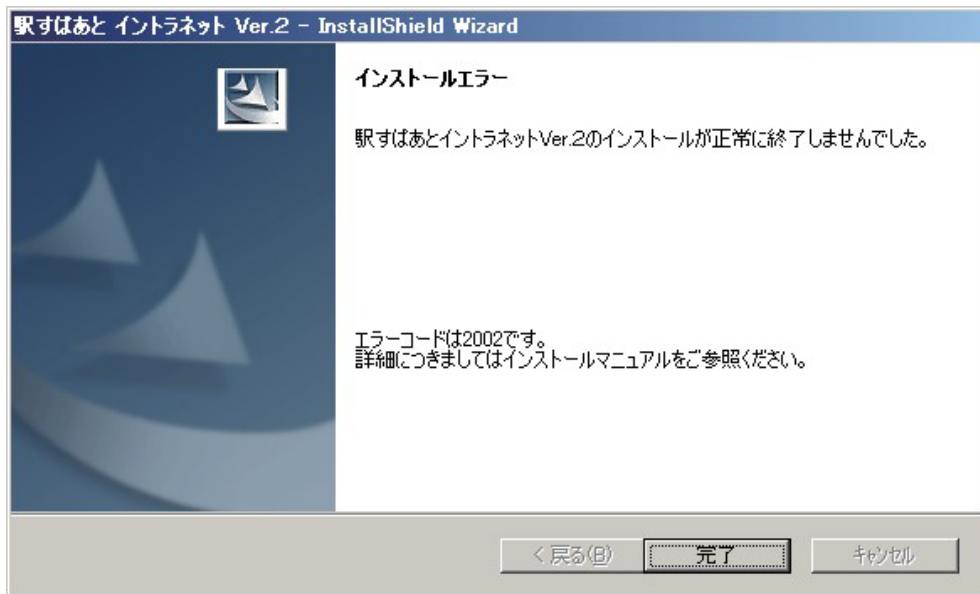
これで「駅すばあと」のインストールは完了しました。

※ インストールに失敗した場合は、[「インストールエラー」画面について](#) を参照してください。

「インストールエラー」画面について

インストール中にエラーが発生した場合には表示されます。

画面中に表示されるエラーコードは以下を参照してください。



〈 エラーコード一覧〉

- | | |
|--------|-----------------------------|
| エラーコード | : 1001 |
| エラー内容 | : expv2.conf が存在しません。 |
| エラーコード | : 1002 |
| エラー内容 | : system.conf が存在しません。 |
| エラーコード | : 2001 |
| エラー内容 | : エイリアス名が正しく設定されていません。 |
| エラーコード | : 2002 |
| エラー内容 | : system.conf の設定が正しくありません。 |

〈 エラー時の対応〉

- アンインストール後、再度インストールしてください。
- その他、バージョン情報が更新されない等の現象が発生した場合も、同様に再度インストールしてください。
- インストールに何度も失敗する場合には、[ユーザーサポートセンター](#) までご相談ください。

b バージョンアップ時のインストール

1. Web サーバソフトウェアのサービスを停止します。

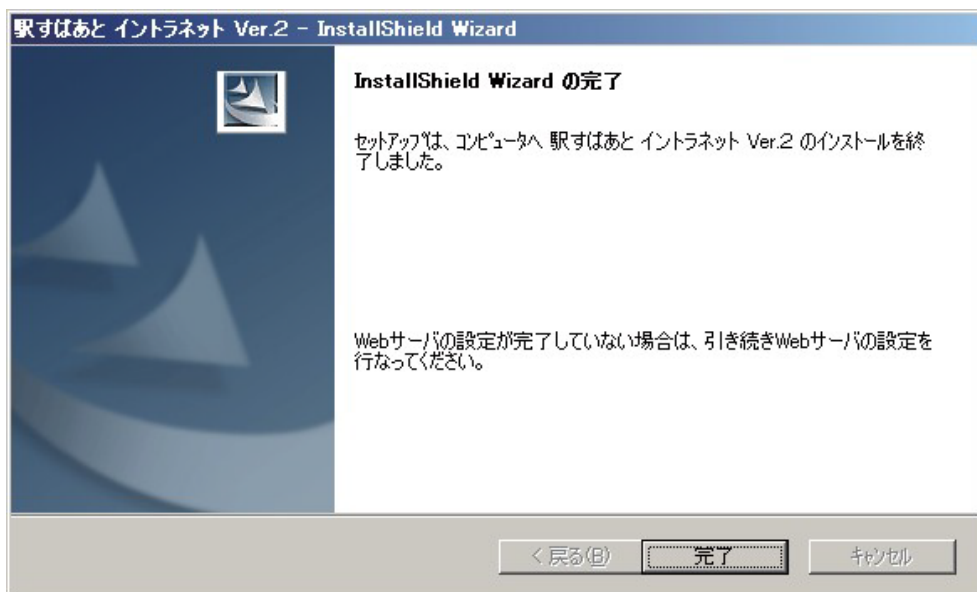
※ サービスを止めずにバージョンアップ作業を実施すると、アクセス競合により一部ファイルが更新できず、OS の再起動を要求する画面が表示される場合があります。
(再起動を行わないと、完全にファイルを更新することができません)
必ず、サービスを停止した上でバージョンアップ作業を行ってください。

2. [「a 初回インストール」](#) の 1. から 8. の手順を実行してください。

3. 「問い合わせ」画面が表示されます。
旧環境設定ファイルの内容を新しい環境設定ファイルに反映する場合には、
【はい (Y)】をクリックしてください。



4. これで「駅すばあと」のバージョンアップは完了しました。



バージョンアップに失敗した場合は、[「インストールエラー」画面について](#) を参照してください。

5. Web サーバソフトウェアのサービスを起動します。

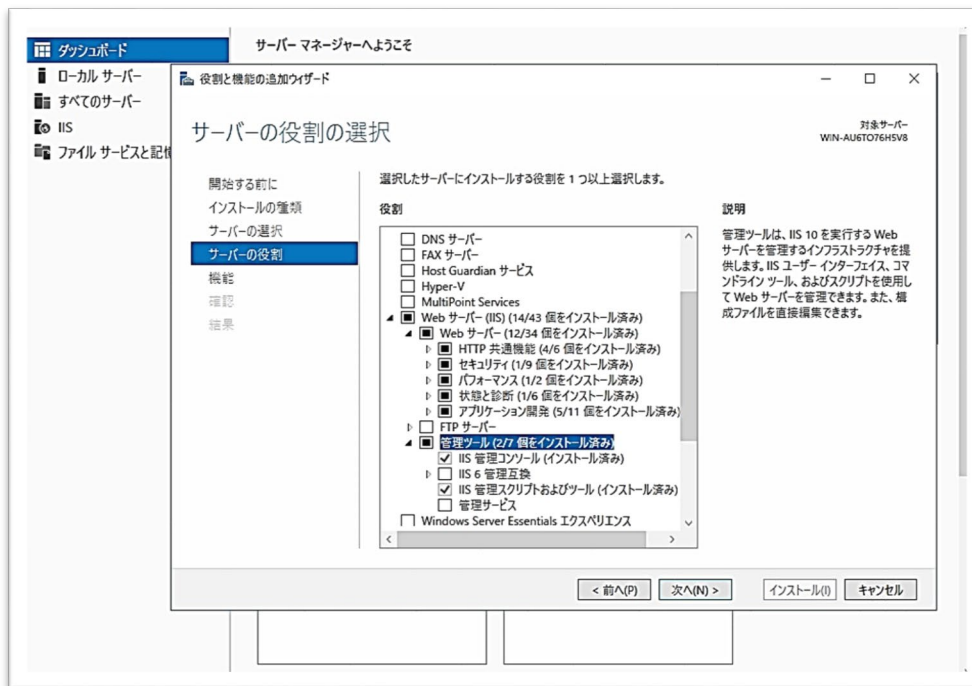
c Web サーバーの設定について (IIS の場合)

i 実行環境の設定

Web サーバーに「駅すばあと」を実行するための設定を追加してください。

< IIS 10.0 の場合 >

※ 事前に、「Web サーバー」と「HTTP 共通機能 > 静的なコンテンツ」および「アプリケーション開発 > CGI」がインストールされていることを確認して下さい。

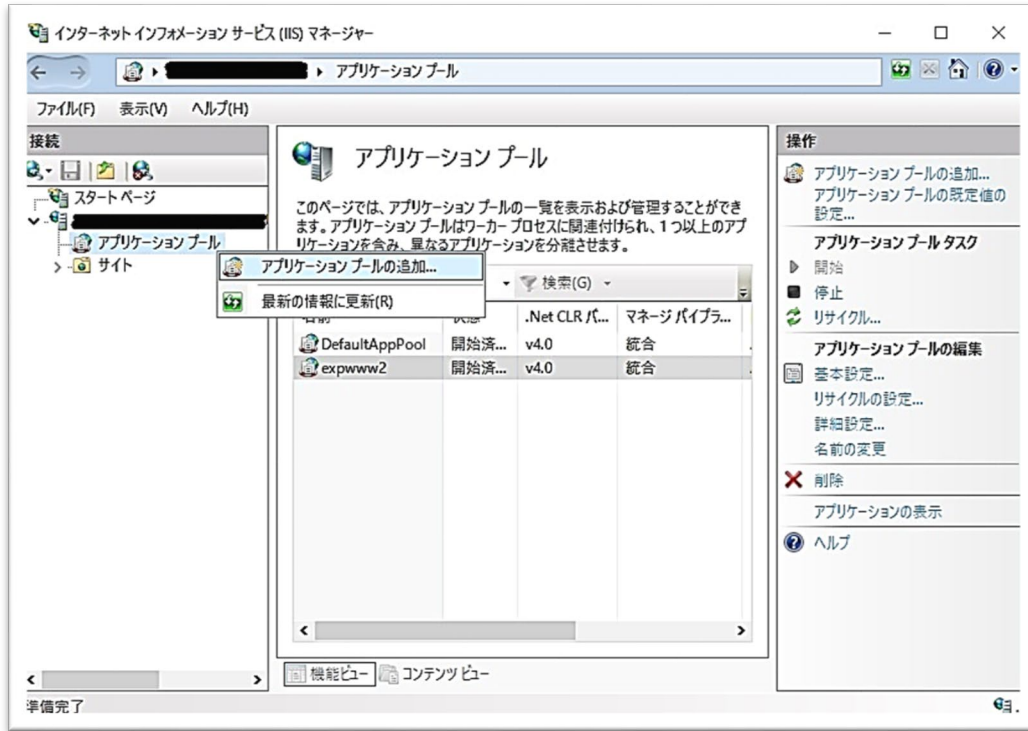


1. 「インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャー」を起動します。

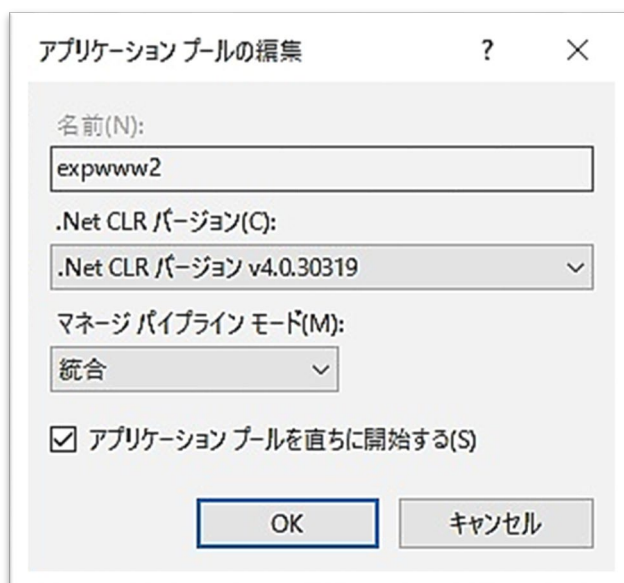


2. アプリケーション プールの追加をします。
「アプリケーション プール」を右クリックし、「アプリケーション プールの追加」をクリックします。

※ 「駅すばあと」は 32bit モードで動作しますが、「駅すばあと」用アプリケーションプールを作成することで 64bit アプリケーションとは別のプロセスとして動作させることが可能です。

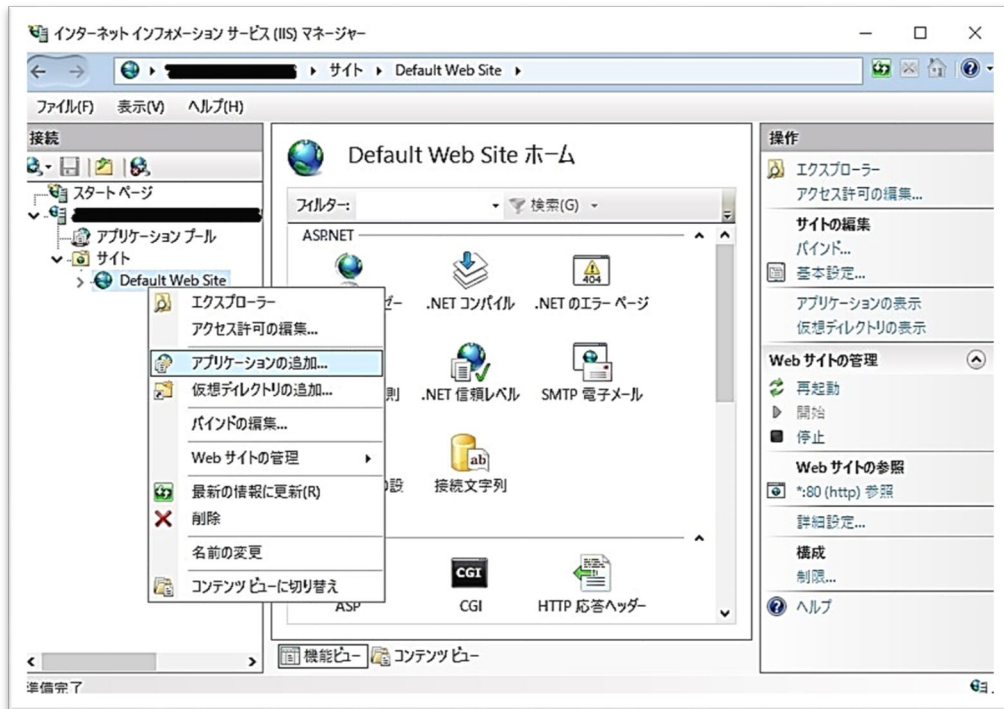


3. 「アプリケーション プールの編集」ウィンドウが表示されます。
名前 (N) に「expwww2」を入力し、その他の設定はそのまま【OK】をクリックしてください。
アプリケーション プールとして「expwww2」が追加されます。



4. アプリケーションを追加します。

左サイドビューの「Default Web Site」を右クリックし、「アプリケーションの追加」をクリックします。



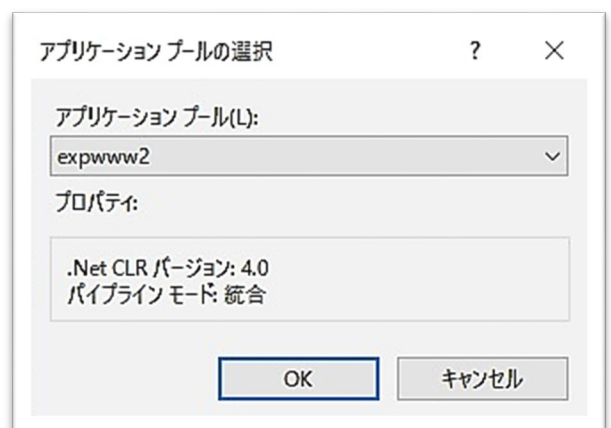
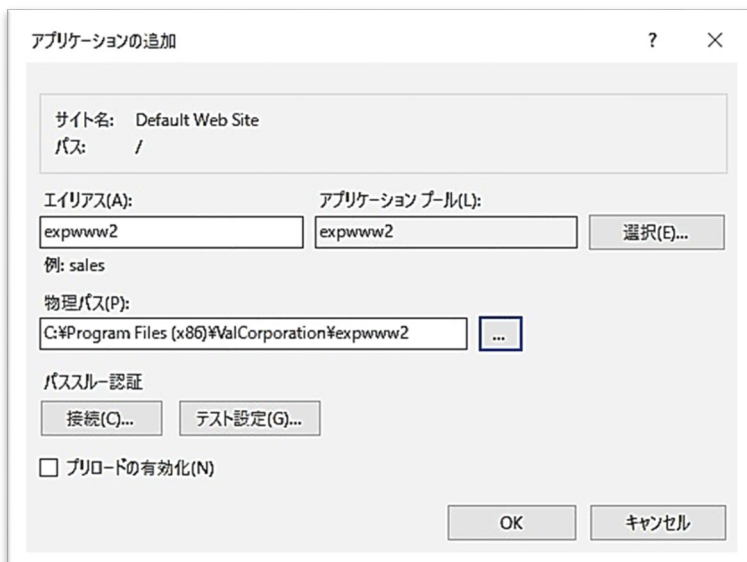
5. 「アプリケーションの追加」ウィンドウが表示されます。

エイリアス (A) にインストール時に設定したエイリアス名を入力し、物理パス (P) に「駅すばあと」をインストールしたフォルダを指定して下さい。

その後、【選択 (E)】ボタンを押下すると、「アプリケーション プールの選択」ウィンドウが表示されますので、アプリケーション プール (L) のリストから「expwww2」を選択し【OK】ボタンを押下します。

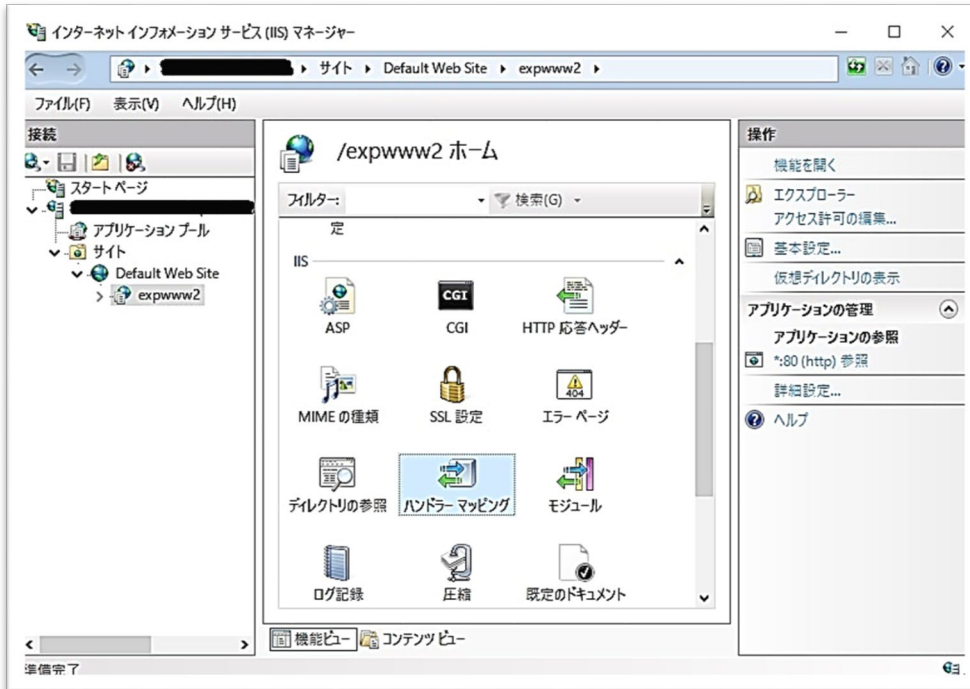
設定内容が下記と同等になっていることを確認しましたら、【OK】を押してください。自動的にアプリケーションとして「駅すばあと」をインストールしたフォルダが追加されます。

例：エイリアス名 expwww2
 インストールフォルダ C:\Program Files (x86)\Val Corporation\Expwww2

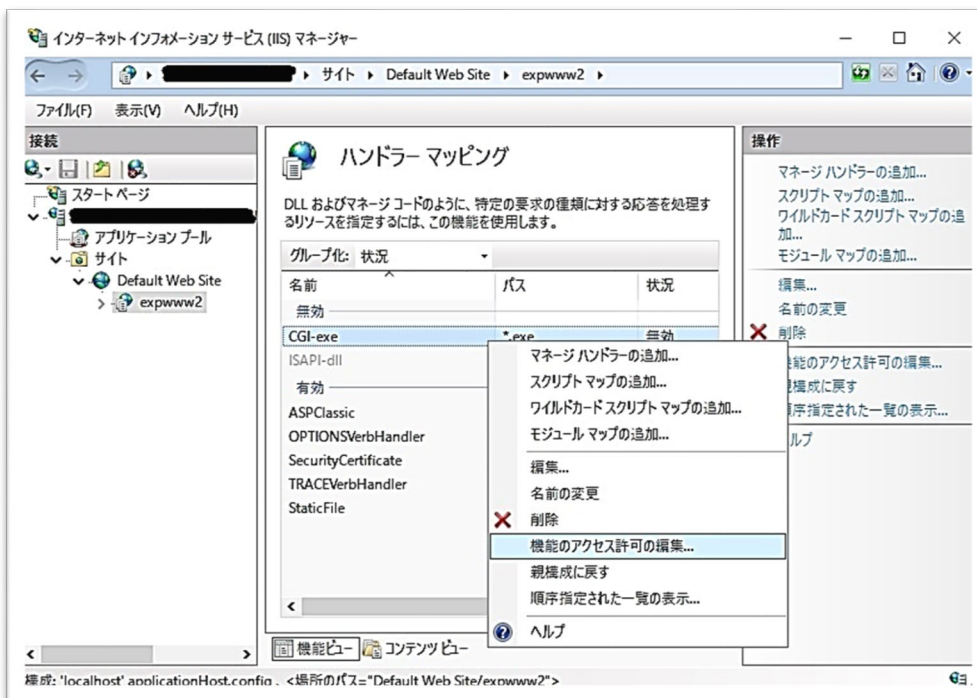


6. CGI の実行を許可します。

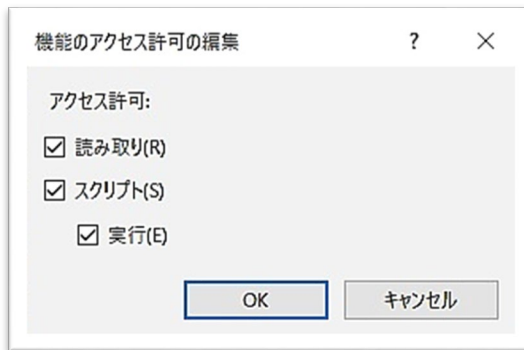
左サイドビューの「expwww2 (設定したエイリアス名)」を選択し、中央のビューに表示される「ハンドラー マッピング」をダブルクリックします。



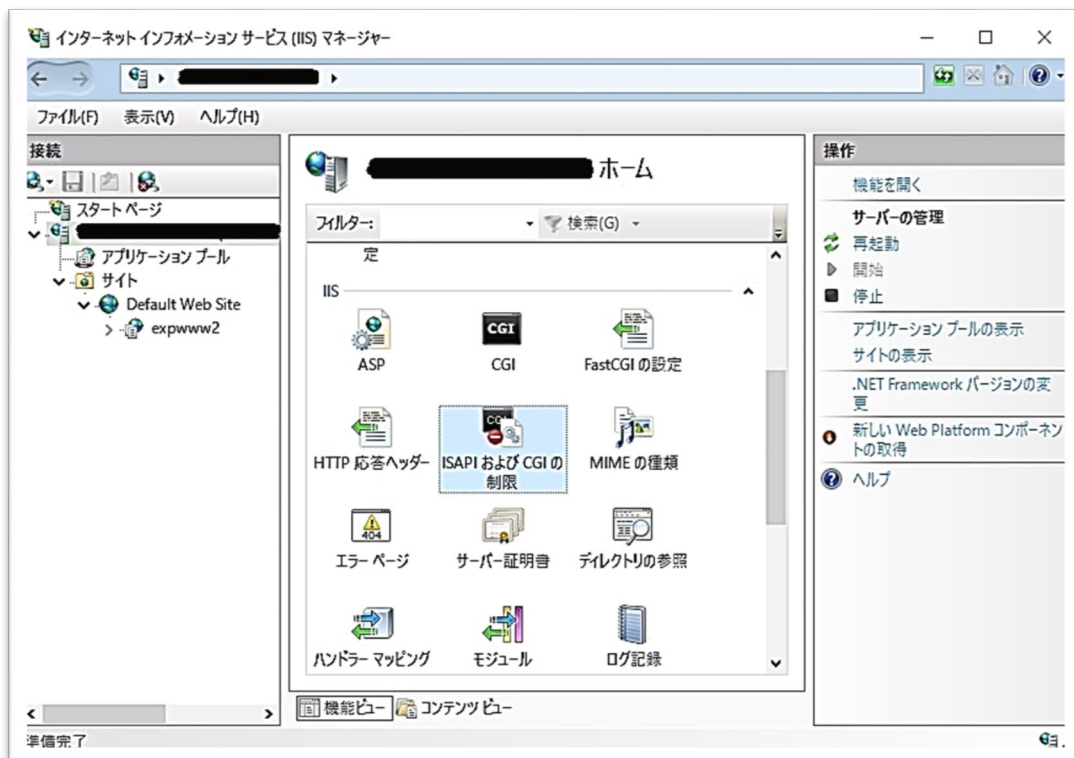
7. 「ハンドラー マッピング」内に表示されている「CGI-exe」を右クリックし、「機能のアクセス許可の編集」をクリックします。



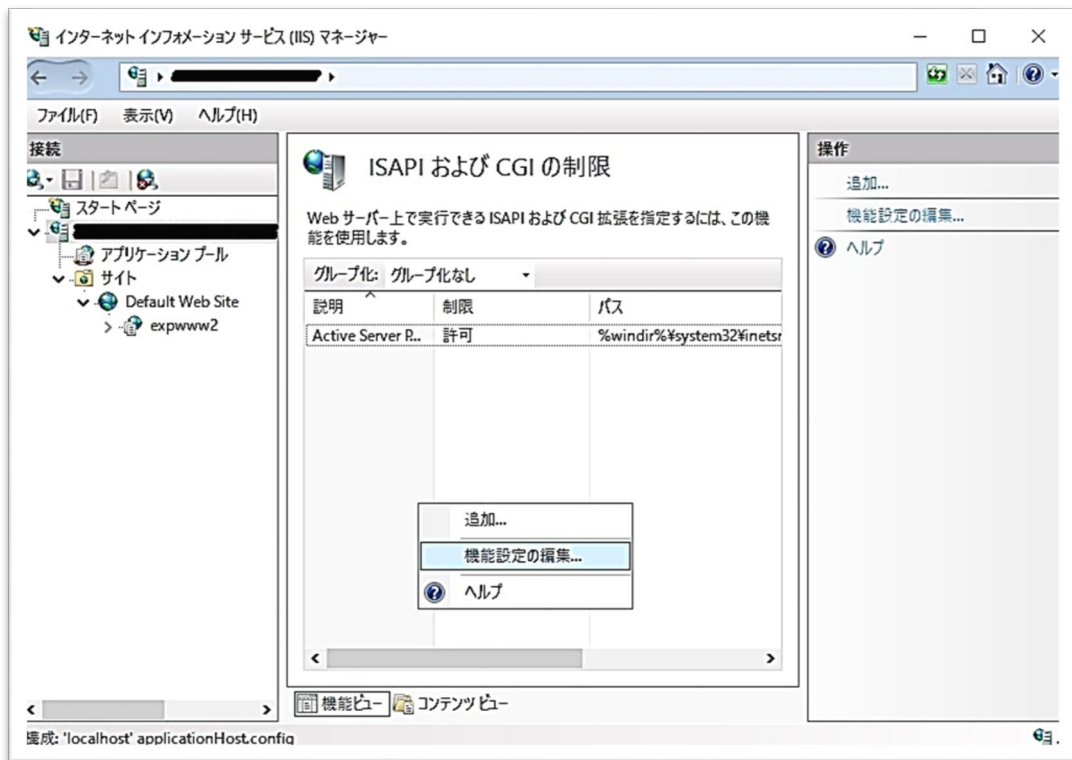
8. 「機能のアクセス許可の編集」ウィンドウが表示されるので、「実行 (E)」にチェックを入れた後、【OK】をクリックしてください。



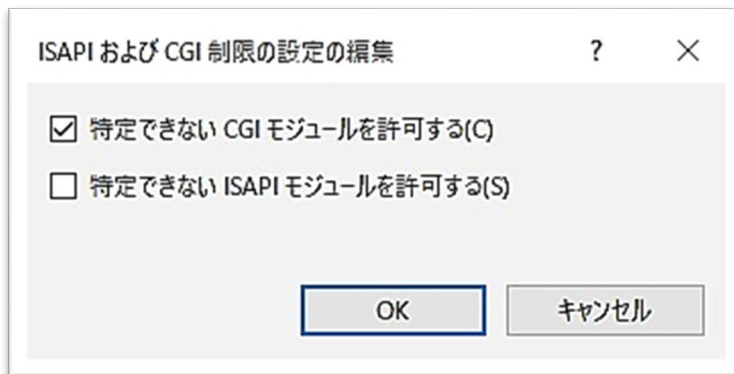
9. 7. の画面上で「CGI-exe」が有効に変更されたことを確認して下さい。
10. CGI 拡張の設定をします。
左サイドビューに表示されている、「サーバー名 (ローカルコンピュータ)」を選択し、「ISAPI および CGI の制限」をダブルクリックしてください。



11. 中央のビュー内の何も無い部分をクリックし、「機能設定の編集」を選択します。



12. 「ISAPI および CGI 制限の設定の編集」ウィンドウが表示されますので、「特定できない CGI モジュールを許可する (C)」にチェックを入れた後、【OK】をクリックしてください。



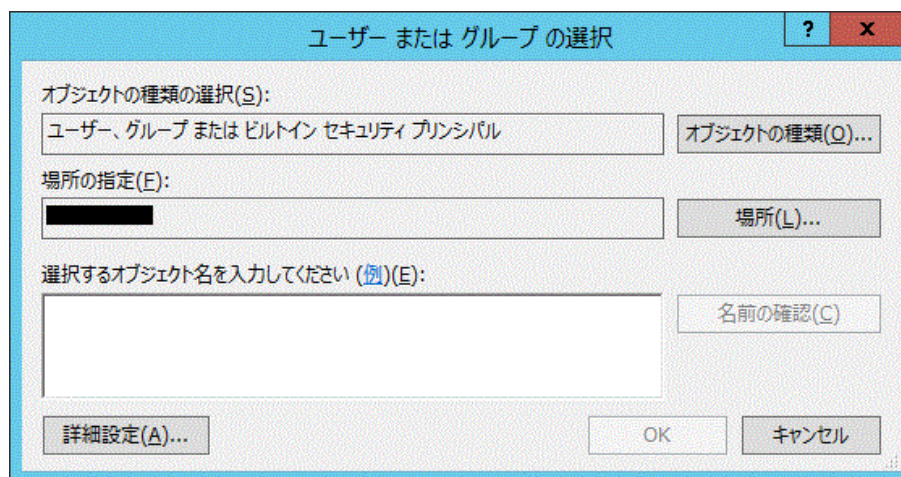
ii 匿名認証アカウントの設定

IIS マネージャーから仮想フォルダ（例 Expwww2）の [認証] 設定において匿名認証が有効になっている場合は、以下の 3 つのフォルダに対して匿名認証アカウント（IUSR）からアクセス出来るようにしてください。

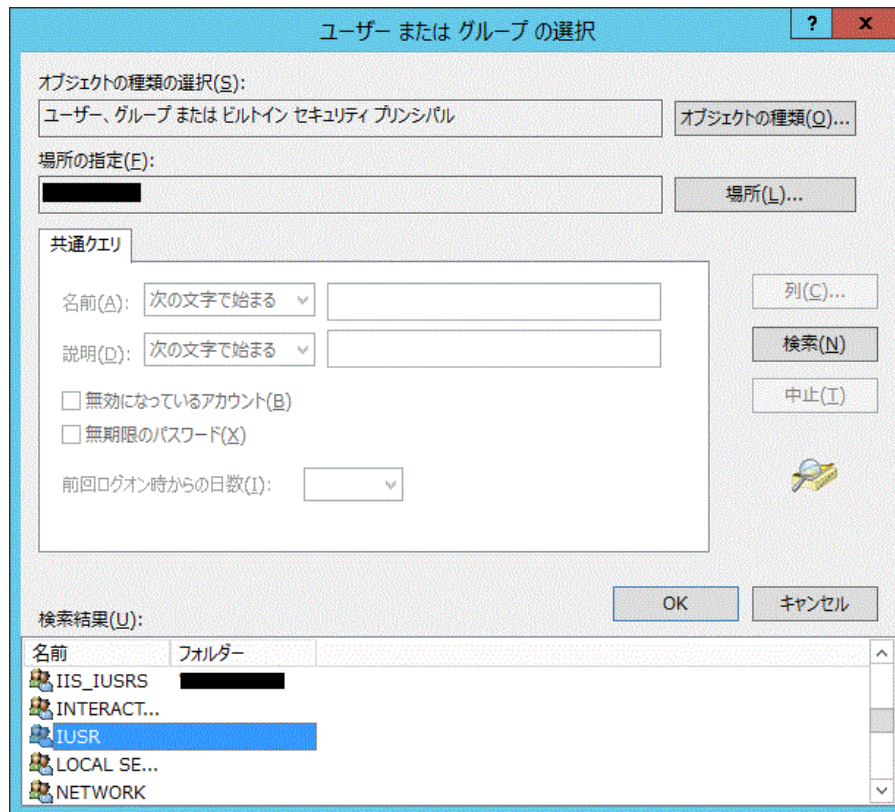
1. 「駅すばあと」のインストールフォルダ（例 Expwww2）
2. 1. のフォルダ内にある「user」フォルダ（例 Expwww2/user）
3. 「駅すばあと」のインストールドライブ直下に作成される、同時接続管理フォルダ（例 C:\expwww2_control ※ 隠しフォルダ）

これらのフォルダについて、以下の設定をしてください。

1. エクスプローラを起動してください。
2. 対象のフォルダを右クリックし、プロパティを開いてください。
3. プロパティ画面のセキュリティタブを選択してください。
続けてセキュリティタブ上の【編集 (E)】をクリックしてください。
4. グループ名またはユーザー名部分の【追加 (D)】をクリックしてください。
「ユーザーまたはグループの選択」画面が表示されますので、【詳細設定 (A)】をクリックし、【今すぐ検索 (N)】をクリックしてください。

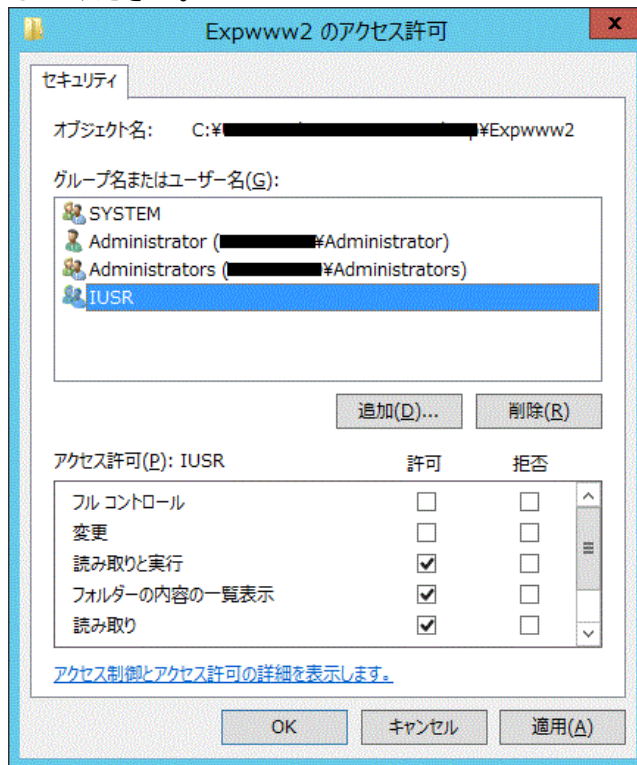


5. 一覧内の「IUSR」をクリックしてください。



6. 「ユーザーまたはグループの選択」画面を終了します。
 【OK】をクリックしてください。5. の画面が終了します。
 【OK】をクリックしてください。4. の画面が終了します。

- 「プロパティ」画面の「セキュリティ」の一覧に、「IUSR」が表示されていることを確認してください。



- 「インターネットゲストアカウントのアクセス許可 (P)」の設定を変更します。

- ・インストールフォルダは 「書き込み」を許可
- ・「user」フォルダは 「書き込み」を許可
- ・隠しフォルダは 「変更」と「書き込み」を許可

にチェックを入れて下さい。

なお、OS や環境によっては既に設定されている場合があります。

- 【適用 (A)】もしくは【OK】をクリックしてください。

iii 匿名認証以外のアカウントの設定

IIS マネージャーから仮想フォルダ（例 Expwww2）の [認証] 設定において匿名認証以外が有効になっている場合は、以下の 3 つのフォルダに対して認証されたアカウントからアクセス出来るようにしてください。

- 「駅すばあと」のインストールフォルダ（例 Expwww2） 「書き込み」を許可
1. のフォルダ内にある「user」フォルダ（例 Expwww2/user）「書き込み」を許可
- 「駅すばあと」のインストールドライブ直下の同時接続管理フォルダ（例 C:\¥expwww2_control ※ 隠しフォルダ） 「変更」と「書き込み」を許可

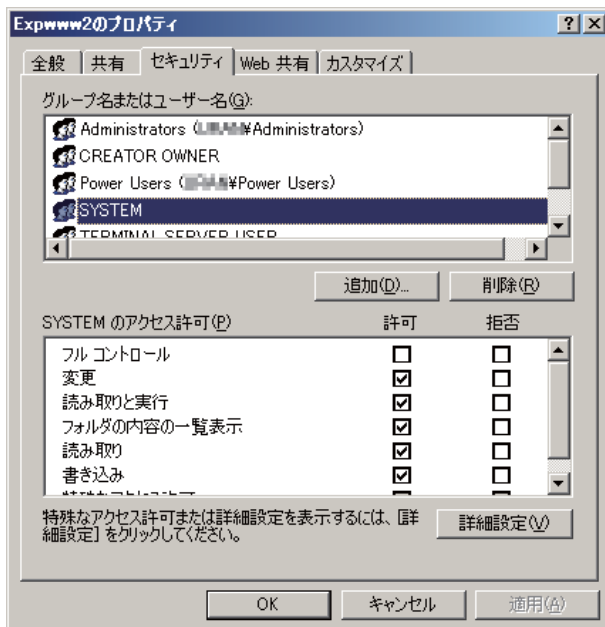
d Web サーバーの設定について (Apache の場合)

以下の 3 つのフォルダの「セキュリティの設定」を確認してください。

1. 「駅すばあと」のインストールフォルダ (例 Expwww2)
2. 1. のフォルダ内にある「user」フォルダ (例 Expwww2/user)
3. 「駅すばあと」のインストールドライブ直下に作成される、
同時接続管理フォルダ (例 C:\expwww2_control ※ 隠しフォルダ)

※ 確認内容 : 「SYSTEM」ユーザーに「変更」、「読み取りと実行」、「読み取り」、「書き込み」が許可されていること。

以下は、「駅すばあと」をインストールしたフォルダ (Expwww2) の場合です。



httpd.conf ファイルに次のパラメータを追加して Apache を再起動してください。

1. 「AddHandler cgi-script .cgi」のコメントをはずして「.exe」を追加してください。
AddHandler cgi-script .cgi .exe
2. Alias /expwww2 “(インストールしたフォルダ)” を追加してください。
Alias /expwww2 “C:/Program Files/ValCorporation/Expwww2”
3. ディレクトリのアクセス制限を設定してください。
<Directory “(インストールしたディレクトリ)”>
<例 C:\Program Files\ValCorporation\Expwww2 にインストールした場合 (2.4 系) >
<Directory “C:/Program Files/ValCorporation/Expwww2”>
 Require all granted
 AllowOverride all
 Options ExecCGI
 AddDefaultCharset off
</Directory>

4. 追加アクセス制限設定

AccessFileName の記述が存在している場合、下記のようにになっていることを確認してください。

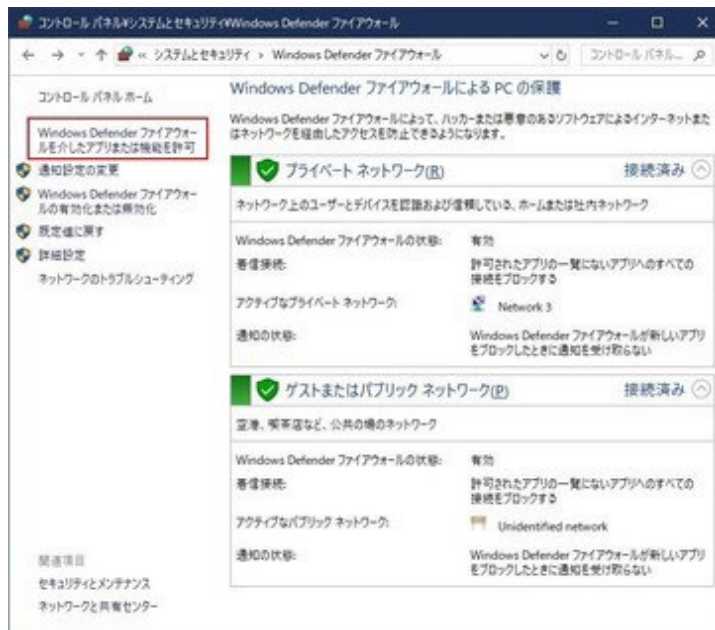
```
AccessFileName .htaccess
```

※バージョンアップ時は、.htaccess の内容を保持します。

e ファイアウォールの設定について

※ ファイアウォールを有効にしている場合には、以下の手順に従い Web サーバーのポートが開いていることをご確認ください。

1. コントロールパネルを起動してください。
2. 「システムとセキュリティ」・「Windows Defender ファイアウォール」ダイアログの、「Windows Defender ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可」を押してください。



3. 「World Wide Web サービス (HTTP)」がチェックされていることを確認してください。チェックされていない場合には、チェックをして【OK】を押してください。



f 「駅すばあと」の起動と終了

1. 起動

ブラウザから下記の URL へアクセスしてください。

[プロトコル名]://[ドメイン名](:[ポート番号])/[エイリアス名]/expcgi.exe

アクセス例)

http://abc.cdef.co.jp/expwww2/expcgi.exe

http://abc.cdef.co.jp:8080/expwww2/expcgi.exe

http://192.168.0.2/expwww2/expcgi.exe

※ 上記以外の起動方法は動作保証を致しかねますのでご了承ください。

インラインフレームのリンクを使って、フレーム内から本製品をご利用することはサポート対象外になります。

2. 終了

ブラウザを閉じるか、他のページを表示すると終了します。

g 「駅すばあと」のアンインストール

1. Web サーバーの実行環境の削除

インストール時に指定したサーバーの設定を削除してください。

2. 「駅すばあと」の削除

コントロールパネルのアプリケーションの追加と削除の画面で「駅すばあと イン트라ネット Ver. 2」を選択して削除ボタンをクリックしてください。

h Web サーバーの実行環境の移行

【移行元環境での操作】

1. インストールフォルダ中のファイル `expv2.conf` および `user` フォルダとフォルダ中のファイルについて、念のためバックアップを取ってください。
2. 「g 「駅すばあと」のアンインストール」を実行してください。
3. アンインストール後のインストールフォルダに残ったファイル `expv2_old.conf` および `user` フォルダとフォルダ中のファイルを、移行先の Web サーバーに任意の方法でコピーしてください。

【移行先環境での操作】

4. 手順 3. でコピーしたファイルおよびフォルダを、移行先環境で使用するインストールフォルダに移動してください。
5. 「b バージョンアップ時のインストール」を実行してください。
「インストール先の選択」画面では、手順 4. でファイルを移動したインストールフォルダを設定してください。
6. 実行環境の移行が正常に行われたことを確認し、手順 1. でバックアップを取ったファイルを削除してください。

5 管理画面について

「駅すばあと」では管理画面にて各種設定ができます。

1. 操作部にある「管理者用サイト」アイコンをクリックします。



<「管理者用サイト」のアイコン>

2. パスワードを入力します。
初期パスワードは「admin_intra」です。
3. 環境設定を選択します。
4. 必要な項目を任意に設定します。
環境設定の詳細内容については管理者用サイトのヘルプをご参照ください。

※ 「環境設定」画面よりパスワードが設定されます。インストール後、速やかにパスワードを再設定してください。
パスワードは暗号化されてテキストファイルに保存されております。直接テキストファイルを編集されても正しく動作いたしませんのでご注意ください。
パスワードを初期化されたい場合は、「駅すばあと」をインストールしたフォルダにある、expv2.conf 内の「adm_password」の項目をブランクにしてください。
初期パスワードでログインが可能になります。

<管理画面の起動と終了>

1. 起動
 - ・「管理者用サイト」アイコンを表示している場合
「駅すばあと」を起動し、操作部にある「管理者用サイト」アイコンをクリックして、パスワードを入力した後管理者用サイトへログインしてください。
 - ・「管理者用サイト」アイコンを非表示にしている場合
http:// インストールしたサーバー名 / 設定したエイリアス名 /
admin.html?val_appname=expcgi.exe
2. 終了
ブラウザを閉じるか「終了／駅すばあと起動」をクリックしてください。

6 Cookie を利用しない場合について

URL をフルドメインで設定しない場合、Cookie の利用ができなくなります。
このため、クライアントの利用環境の情報を保持できなくなり、以下のような動作となりますのでご注意ください。

1. 前回入力した出発地・目的地の駅名が再表示されません。
2. 探索条件は、起動されるたびに環境設定ファイルの情報が設定されます。
3. 起動時の路線図は、環境設定ファイルで指定された地域が表示されます。
4. 全機能版と簡易版の切り替えをした際は、入力したデータは引き継がれません。

7 サポートについて

ホームページ「駅すばあと」サポート

お問い合わせ前にサポートサイト内「よくあるご質問（FAQ）」をご利用ください。

URL <https://support.ekispert.jp>

ユーザーサポートセンター

インストール方法や、操作方法などについてのご質問は下記までお願いします。

E-Mail support@val.co.jp

TEL 03-5373-3522

（受付時間 月～金 9:30～12:00 / 13:00～17:00 ※祝日・当社指定日を除く）

FAX 03-6683-2507

- ・ お問い合わせの際には、下記の情報を併せてご連絡していただきますと、より迅速に回答できます。

情報例 1 「駅すばあと」の動作についてご質問がある場合	
駅すばあとのバージョン	2021/12 第 1 版
サーバー OS	Windows Server 2016
CPU	Intel Core i7-2600 CPU 3.40GHz
メモリ	16GB RAM
HDD の使用状況	120GB(使用) / 512GB (全体)
Web サーバーソフトウェア	IIS 10
※) クライアントの Web ブラウザ	Microsoft Edge

※ クライアントの動作に関してお問い合わせがある場合には、こちらの情報もご連絡ください。

情報例 2 CGI インターフェースの仕様についてご質問がある場合	
駅すばあとのバージョン	2021/12 第 1 版
サーバー OS	Windows Server 2016
CGI インターフェース名	cgi_diaassign2_h

なお、「駅すばあとイントラネット Ver. 2」のサポートに関しては、サーバー管理者の方を対象とさせていただきます。

調査内容によっては、「駅すばあとイントラネット Ver. 2」へのリクエストおよびレスポンスパラメータが必要になります。そのため、上記を含む、Web サーバーのログのご提供をお願いします場合がございます。

また、バージョンに表示されている月から 1 年以上が経過したのものに関しましては、製品の性質上サポートいたしかねますのであらかじめご容赦ください。

（ただし、バージョンアップのお申し込みやユーザー登録方法は除く）

本プログラム及びマニュアルは無断で複製することを禁止します。
仕様は予告なしに変更する場合があります。

© Val Laboratory Corporation

※本マニュアルに記載されているプログラム名、CPU名、製品名は、
一般に各メーカーの登録商標及び商標です。